

《アーカイブ》

コラム「〇〇職の最前線～就活に役立つ仕事の魅力～」

2025年5月号

コラム「警備職の最前線～就活に役立つ仕事の魅力～」

施設警備とは、オフィスビルや商業施設、病院などに常駐し、出入管理や巡回、モニター監視を通じて安全を守る仕事です。しかし、それだけではありません。現場では「決まったことをこなす」だけでなく、防災・防犯の観点から施設管理者に改善提案を行うこともあります。例えば、「この動線は不審者の侵入リスクがあるのでは」といった視点でリスクを予測し、対策を提案する場面も。AIや顔認証など最新技術の導入も進む中で、警備員には観察力や判断力、コミュニケーション力が求められています。

「何も起きないことが成果」という仕事だからこそ、街のインフラを支えている実感と責任、そしてやりがいがあります。日常の安心を守るこの仕事を、就職活動の新たな選択肢としてぜひ知っていただければ幸いです。

(文:株式会社 KSP 大垣広太)

2025年6月号

コラム「設備リニューアル営業職の最前線～就活に役立つ仕事の魅力～」

建設業界のイメージを覆す！クリーンなリニューアル営業の魅力

「建設業の営業」と聞いて、ゼネコンとのやり取りやお客様との接待が多いといったイメージをお持ちの学生さんも少なくないかもしれません。しかし、私たちビル・マンションのセキュリティ設備リニューアルに特化した会社の営業スタイルは、そのイメージとは一線を画します。

接待は過去のもの？クリーンな営業現場

私たちが活躍するリニューアル業界では、コンプライアンスが徹底されており、お客様との飲み会や接待ゴルフが行われることはほとんどありません。従来の「接待漬け」といったイメージは、もはや過去のものと言えるでしょう。学生の皆さんには、安心してキャリアを考えていただける環境です。

既存のお客様に寄り添う、提案型の営業

保険の営業マンのような新規開拓中心のイメージとは異なり、私たちの営業は既存のお客様への継続訪問が大きな特徴です。長年お取引のあるお客様のもとへ定期的に伺い、セキュリティ設備に関する様々なご提案を行います。

具体的な流れとしては、まず先輩社員とともにお客様を訪問し、古くなった設備に関する情報をお伺いすることから始まります。その後、実際に現場を訪問し、それぞれの現場に最

適な安心・安全の向上を実現するリニューアルプランをご提案します。お客様の課題をヒアリングし、解決策を提案する、コンサルティングに近い要素も持ち合わせています。

「ありがとう」がやりがいになる仕事

特に印象的だったのは、高齢者の方が多いマンションで、古いインターホンを録画機能付きの新しいものに取り替えた際のこと。「これで安心して生活できるね」と、お客様から直接感謝の言葉をいただくことができました。

世の中には様々なビジネスがありますが、お客様から対価をいただき、さらに「ありがとう」と感謝される仕事はそう多くありません。お客様の安全で安心な暮らしに貢献できるこの仕事は、私たちにとって大きなやりがいであり、社会貢献を実感できる分野です。

貴校の学生の皆様には、このコラムを通じて、よりクリーンで、お客様に直接感謝される建設業界、特にリニューアル事業の営業職に少しでも興味を持っていただけたら幸いです。キャリアガイダンスの機会に、ぜひ建設業界の新たな一面としてご紹介いただけると嬉しく思います。

(文:株式会社セーフティー&ベル 宇佐見 聡)

2025年7月号

コラム「総合職の最前線~就活に役立つ仕事の魅力~」

当社は、創業60年を迎えるレンタルおしぼり業の会社です。都内で創業しているので、顧客の多くは、都心部の飲食店、ホテルです。近年は飲食店のユニフォーム、テーブルクロス等の洗濯をはじめ、一般家庭からのクリーニングも手掛けています。

当社の総合職は、さらに多様化する事業を支え、さらに発展させていくための未来志向の業務です。

総合職に期待されることは、新サービスの企画、顧客ニーズの理解、効率的業務の研究など、幅広くビジネスの基本を学んで得られる企画力、提案力等、柔軟な思考です。

当社では、マーケティング、経営企画、セールス、広報、マネージメント等を学ぶ機会を意図して多く用意しております。会社や、社会の成り立ちと仕組みまで理解できるよう配慮しており、専門知識だけでなく幅広い経験を積むことができます。

当社自体も、事業以外の活動を行っておりますが、社会や地域との繋がりや、現代の企業にとって欠かせないものとなっていると認識しております。企業の良心や良識は、事業そのものだけでなく、社員一人ひとりの成長、そして社会と地域への貢献から育まれると信じております。

(文:株式会社東京すずらん 石川 啓夫)

2025年8月号

コラム「イベント企画職の最前線~就活に役立つ仕事の魅力~」

イベント企画職は、創造力と実行力を兼ね備えた、非常に魅力的な仕事です。企業や団体の目標達成のために、コンセプトの立案から実施までを一貫して統括し、参加者に価値ある体験を提供します。

近年、イベントのオンライン化やハイブリッド開催が進み、デジタル技術を駆使した企画力が求められるようになりました。今後は、AIやVR技術を活用した没入型体験により、リアルとバーチャルの融合が進み、時間や場所の制約を超えた新しい参加スタイルが生まれるでしょう。これにより、イベントの可能性はますます広がっています。

この仕事の醍醐味は、まさに「ゼロからイチを生み出す」ことです。アイデアを形にし、人々の記憶に残る瞬間を創り出す過程には、大きなやりがいがあります。また、チームで協力し、関係者と交渉しながら実現へと導くため、臨機応変な対応力やコミュニケーション能力が不可欠です。さらに、世の中のトレンドを読み解き、マーケティングの視点を取り入れる力が成功の鍵となります。

学生の皆さんがこの職種を目指す上で、就職活動では企画力や発想力を具体的に示す経験が大きな強みになります。学生時代のプロジェクトやイベント運営の経験、ボランティア活動などで、企画立案から実行までのプロセスに携わった経験があれば、イベント企画職への高い適性をアピールできるでしょう。

イベント企画職は、社会に新しい価値を生み出し、人々の心を動かすことができる、非常にやりがいのある仕事です。ぜひ、学生の皆さんには、積極的に“集う文化”を体験し、自身の可能性を広げる機会として、この職種に興味を持っていただければ幸いです。

(文:株式会社アゴラ・ステーション 藤井 充)

2025年9月号

コラム「店長職の最前線~就活に役立つ仕事の魅力~」

食品小売業の店長という仕事は、スタッフの皆さんの士気を上げ、店舗を円滑に運営する管理職と、自ら情熱をもって商品売り込むという営業職としての2つの側面があります。店長職に必要なスキルは、観察力、思いやり、コミュニケーション力、スピード、基本的なPCスキルです。特にホスピタリティの基礎となる観察力や思いやりはチームを運営する上でも特に重要です。

また、私たち小売業は「品質の高い商品を提供してくださる仕入先様の一番のファンであり、一番の理解者である」という気持ちで日々仕事をしています。自分が好きな商品を採用しスタッフにもファンになってもらう。みんなが好きな商品を販売してお客様にも喜んでもらえ成果が上がる、ということとはとてもやりがいがあります。一見誰でもできそうな仕事に見えますが、日本の食文化やお客様の生活に貢献していると感じると非常に奥深く面白いものです。

ぜひこの店長ならではの楽しさに興味を持っていただければ幸いです。
(文:株式会社アイカプラネット 宮井 翔)

2025年10月号

コラム「映像制作職の最前線~就活に役立つ仕事の魅力~」

映像制作職は、単に映像をつくる仕事ではありません。制作・進行・演出をする職業です。社会にあふれる情報を収集・企画立案から構成台本を仕上げて、それに基づきロケや収録したものを編集し、整音して1本化します。報道・スポーツ中継、時にバラエティとして「正しく整理し、伝える」——いわば、「情報制作業」の最前線を担う役割です。

そのために欠かせないのが、情報を見極めて扱う力＝情報リテラシーです。やんかわ商店ではテレビ番組のほか、教育動画や企業PR映像、SNS向けコンテンツなど、多様な制作を行っています。こうした映像は単なる娯楽ではなく、人々の学びや行動に直結します。だからこそ大切なのは「何を、どう伝えるか」という視点です。

近年はSNSなどによる多様な発信が目立ちますが、私たちが扱うのは公共の電波を通じた情報。そこには“社会的な信用力”と同時に、大きな責任が伴います。

この仕事の魅力は、自分の手がけた映像が信頼性ある情報として世に広がり、人々に新しい視点や感動を届けられることです。AI編集やライブ配信といった最新技術が進化する一方で、根幹にあるのは「事実を大切にする姿勢」と「情報を正しく扱う力」。

就活に臨む皆さんにとっても、映像制作職は、チームで協力しながら“信用を築く情報発信”を体験できる、これからの時代に不可欠な仕事といえるでしょう。だからこそ、やんかわ商店では“感謝と責任”を大切にしています。映像を通じて一人でも多くの人に笑顔と感動を届けられる——それが私たちの誇りであり、未来を担う皆さんに共に挑戦してほしい価値でもあります。

ぜひ、インターンシップに参加して体感してみてください。
(文:株式会社やんかわ商店 巖川咲栄)

2025年11月号

コラム「イベントWEBマーケティング職の最前線~就活に役立つ仕事の魅力~」

イベントWEBマーケティング職は、自社WEBサイトのページ制作やSEO対策をしてGoogle検索の順位を上げることで、より多くの人に自社WEBサイトを見てもらい、問合せ数を増やすことが仕事です。

また当社ではWEB制作のみならず、実際にお客様からいただいた問合せに対して、打ち合わせや見積作成を行い、イベント会場のレイアウト図面を作ったり、実際に現場に行って会場施工をディレクションもします。

パソコンの画面に向き合ってWEB制作するだけでなく、実際にお客様とやりとりや打ち合わせをイベント会場の現場にも行くことで、さらにお客様目線のWEBページ制作をすることが可能になります。例えば自分が担当した展示会ブースの写真を撮り、WEBページに展示事例として載せることやそれをSNS発信していくこと。またアンケートを取り実際に使っていただいたお客様の声を商品ページに反映することや新商品のページ作成など、WEB(集客)→営業(お客様対応)→現場(サービス)まで一貫して携わることでビジネスの基本が身につく、自分が今している仕事が全体の流れの中でどう役に立っているのか？を実感しながら仕事ができます。

(文:株式会社ステップ 中野 聖二郎)

2025年12月号

コラム「SE・PG職の最前線~就活に役立つ仕事の魅力~」

基幹システムは、コンピュータの進化に伴い、今後も発展し続けます。

このシステム構築を担うのがSE(システムエンジニア:要件定義・設計)・PG(プログラマ)です。近年、生成AIの急速な発達で、シリコンバレーではIT技術者を削減しています。日本でも、今後は、初級PGの作業はAIが行うでしょう。

しかしながら、高市政権においてもイノベーション(DFFTの構築、サイバーセキュリティ強化、デジタル行財政改革、科学技術と産業の連携など)の推進を図っています。まだまだDX推進含めて、SE・PGは重要な人材です。これからもSE・PGとAIが協働しながらタスクを進める自律型AIとして、社会により深く定着していくのです。

この様に、これからもSE・PGは花形職種として、企業の生産性向上や業務変革を支えていくのです。社会貢献をシステム化によって支えているのがSE・PGです。皆さんと共に日本の未来に貢献して行きましょう。

(文:株式会社第一コンピュータサービス 会長 増田洋一)

2026年1月号

コラム「証券総合職の最前線~就活に役立つ仕事の魅力~」

■ 金融系総合職=厳しい営業?そのイメージ、少しでも更新しませんか

金融系の総合職と聞くと、メガバンク、地方銀行、信用金庫、証券会社、保険会社などを思い浮かべ、「競争が激しい」「数字に追われる営業職」そんなイメージを持つ方も多いのではないのでしょうか。

特に証券総合職は、一刻々と変化する世界経済やマーケットを読み解き、その情報を投資家に伝え、結果を求められる—そんなハードな仕事として敬遠されがちです。

■ 実は、“人の人生”に深く関われる仕事

日本が「貯蓄から投資へ」と舵を切る今、証券総合職の役割はますます重要になっています。命の次に大切とも言われる「お金」を通じて、

- ・お客様の資産形成をサポートする
- ・将来への不安を和らげる

・夢や目標の実現を後押しする
そんな大きなやりがいを感じられる仕事でもあるのです。

■ 証券会社の仕事は、営業だけじゃない

証券会社には、実に多様なキャリアがあります。

- ・中堅/中小企業の退職金や年金を扱う法人向け営業
- ・ベンチャー企業の株式公開(IPO)を支援する
- ・上場企業の資金調達、海外展開、M&Aを支援する
- ・資金運用を専門に行う運用部門
- ・経済分析や企業調査を行い、専門性を極めるリサーチ部門

自分の個性や強みを活かしながら、分野ごとのスペシャリストとしてキャリアアップできる道が用意されているのも、証券業界の大きな魅力です。なお、ファイナンシャル・プランナー(FP)や証券アナリストといった資格は、キャリア形成において大きな武器になります。

■ 証券会社で得た知見は、一生モノの財産

弊社では、証券総合職出身者がそれぞれの得意分野を活かし、確定拠出年金の仕組みを活用した「ゼロからの資産形成」を得意とした【金融ブティック】として、中小企業の従業員の皆さまをサポートしています。

証券会社で身につけた知識や経験は、仕事だけでなく、人生そのものを支える力になります。就活で業界選びに迷っている方こそ、ぜひ一度「証券総合職の最前線」に目を向けてみてください。

(文:まごころフィナンシャルサービス株式会社 代表取締役 奥山徳雄)

2026年2月号

コラム「訪問介護職の最前線~就活に役立つ仕事の魅力~」

訪問介護は、「ありがとう」をもらうための仕事ではありません。私たちが向き合っているのは、利用者さんの人生そのものです。自宅という最もプライベートな場所に入り、その人の生き方や価値観を尊重しながら、日常を支える。それは覚悟と責任が求められる、プロフェッショナルな仕事です。1人で訪問する仕事ですが、決して苦しいものではありません。

当社としては、従業員の年齢や経験よりも「どう生きたいか」「人とどう関わりたいか」を大切にしています。若いからできない仕事ではありません。むしろ、固定観念にとらわれず、まっすぐ人と向き合える若い感性こそが、訪問介護の現場では大きな力になります。現場では一人で判断し、行動する場面も多く、自然と考える力と主体性が磨かれていきます。

訪問介護の最前線は、誰かの人生に入り込むことで、自分自身の人生観も鍛えられる場所です。楽ではない。けれど、誤魔化しのきかないリアルな現場だからこそ、若いうちに挑戦する価値がある。私たちは、そんな覚悟をもった人と一緒に、訪問介護の未来をつくっていきたいと考えています。

(文:エンジェルサポート株式会社 代表取締役 秋吉利恵)

2026年3月号

コラム「電子部品営業職の最前線~就活に役立つ仕事の魅力~」

当社は、パワー半導体をはじめとする電子部品や電子機器の販売を通じて、お客様のニーズに応える営業活動を行っています。一見すると専門性が高く難しそうに感じるかもしれませんが、本質は「価値あるものを必要な人に届ける」ことにあります。

営業職は、数字やノルマと向き合いながら成果を出していく仕事です。その一方で、当社の営業には、自ら価値を探しにいく面白さがあります。海外の展示会に足を運び、まだ知られていない優れたメーカーや製品を見つけ出し、それを自分の言葉でお客様に提案していきます。

世界には、品質・コスト・納期の面で優れた価値を持ちながら、まだ十分に知られていない企業が数多く存在します。そうした価値をつなぐことが、私たちの役割です。

当社の代表取締役 小川がよく口にする「お客様に喜びと感動を。」という言葉の通り、営業の原点にあるのは“人間力というサービス”。最終的に選ばれるのは「この人から買いたい」と思っただけなのかどうかです。自分を通して価値を届ける実感こそ、この仕事の大きな魅力です。

(文:株式会社英知コーポレーション 木村 楓)

2026年4月号

コラム「施工管理職の最前線~就活に役立つ仕事の魅力~」

いま施工管理は、「現場監督=号令をかける人」というイメージを超えています。安全・品質・工程・予算を束ね、職人・設計者・発注者・近隣の方々まで含めて“同じゴール”を共有し、プロジェクトを前へ進める建設現場のプロデューサーです。

朝はKY(危険予知)と朝礼で段取りのすり合わせ。午前は搬入動線や作業手順の確認、昼は納まりや変更点の調整、夕方は写真・検査・記録を整えて翌日の手配を固める—泥臭くも、判断とコミュニケーションの連続が仕事のリアルです。

トレンドは「デジタル×段取り力」です。iPadでの図面共有、電子黒板、工程のクラウド管理、写真の自動整理などが進み、現場は「歩き回って探す」から「その場で見て決めて更新する」へ。だからこそ、机上の知識よりも現場での気づきや先読みが価値になります。大雄では図面だけでなく、見積書や請求書もペーパーレス化することで自社だけでなく、協力業者全体の業務効率改善を実施しています。更に空いた時間で翌日以降の段取りを進めてより一層高品質な空間の提供を実現しています。

もちろん楽な仕事ではありません。工程の遅れや不具合、急な変更に向き合う場面もあります。ただ、関係者の知恵を集めて解決に導いた経験は、そのまま一生ものの段取り力、交渉力、リーダーシップになります。人と技術の間に立ち、社会の基盤をつくる最前線—それが施工管理の新しい働き方です。

(文:株式会社 大雄 代表取締役 奥野克孝)

2026年5月号

コラム「建築施工管理職の最前線~就活に役立つ仕事の魅力~」

施工管理とはどんな仕事？

例えば、建設費5億円の建物を完成させるには、1年半ほどの期間を費やして、延べ約6,000人の職人さんが関わります。施工管理の仕事とは、社内で5人ほどのチームを編成し、その全ての指揮をとり建物を完成させることです。

品質・予算・工程・安全・環境の全てを計画し管理する

具体的には、建築物の品質や予算とスケジュールについて、安全に、周辺環境に配慮した計画をたてます。設計図には表現されていない詳細な寸法や計画を可視化する図面や資料を作成し、職人さんに具体的な指示を行います。日々の進捗が計画通りに行われているかを確認することも大切です。経験年数に応じて少しずつキャリアを形成し、成長を実感することができます。

アイデアを出しあい完成させる喜び

施工中には、間違ってしまうことや悪天候により予定通り進まないこともあります。その時には、チーム内でアイデアを出し合い計画に修正を加え、より品質が高い建物を完成させていきます。知識と経験だけでなく、チームワークと想像力が大切なのです。完成した時にお客様から「御社に発注してよかった」と言っていたくことはかけがえのない喜びです。また、最近の施工管理職は年間休日120日以上、全産業平均より高い給与が定着しています。

ぜひ会社説明会やインターンシップにご参加いただき、若手社員の声と成長していく姿を見て、建物を完成させる楽しさを体感してください。

(文:株式会社河津建設 代表取締役 河津修平)

2026年6月号

コラム「システムエンジニア職の最前線~就活に役立つ仕事の魅力~」

「システムエンジニア(SE)は、一日中パソコンに向かってプログラムを書いている」と思っていませんか？ 実は、私たちが実際にコード(プログラム)を書いている時間は、驚くほど短いのです。

SEの仕事は、決して1人で完結することはありません。お客様の要望を正しく引き出す「理解力」、それを設計図に落とし込む「論理的思考力」、そして仲間と形にする「コミュニケーション力」。これら多様な強みを持ち寄って1つのシステムを創り上げる、まさに「チーム戦」の仕事です。

そして、私たちが創り出したシステムは、企業の経営を支え、巡り巡って人々の日常を便利にする「社会のインフラ」へと繋がっています。自分の仕事が、社会のどこかで誰かの役に立っていると実感できるのは、この仕事の大きな醍醐味です。

もしかするとIT業界には、「男性中心で忙しそう」という古いイメージがあるかもしれませんが。しかし私自身、結婚や出産といったライフステージの変化を経験しながら、ベテランと呼ばれるまで楽しくこの仕事を続けてこられました。

時には設計の考慮不足で落ち込むこともありますが、年齢や性別に関係なく、若手もベテランもフラットに相談し合えるチームの存在が、大きな心の支えになっています。お互いを尊重し、支え合う文化があるからこそ、安心して長くキャリアを築くことができます。

さらに今、生成AIの台頭という「産業革命」とも言える変化が訪れています。だからこそ、人と人との繋がりや柔軟な適応力がより大切になっています。

単なる「作業員」ではなく、社会を支え、仲間と共に挑み続ける。そんな一生モノのスキルが身につくSEの仕事を、ぜひ学生の皆さんの就活の選択肢に加えてみませんか。

(文:ソフトウェア技術株式会社 取締役社長 西平しのぶ)